

事業所名

放課後等デイサービスRASA

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

30日

法人（事業所）理念		ITに特化した療育を提供する放課後等デイサービスです。ITを通じて子どもたちの未来を照らします。						
支援方針		自由な発想で考え行動できる力を育みます。職員の意見を尊重し、チーム支援を重視することで、支援の質を高めます。 また、法令を遵守し、安全な環境を提供することを徹底します。 ITは子どもたちの「やりたい」「やってみたい」を支え、可能性を広げるツールです。私たちはITを活用し、子どもたちの未来を照らします。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	利用者の健康、気持ちの状態に合わせて適切な言葉掛けで自己管理意識を向上させます。時間の有効活用の仕方を支援し生活リズムを整えます。挨拶、仲間や職員との関わりの中で社会的スキルを養います。パソコン活用や整理整頓の指導を通じて基本的な生活スキルを育成。活動内容の「見える化」や環境構造化により、障がい特性に配慮した支援を行います。						
	運動・感覚	机と椅子を使用し、正しい姿勢の保持を促し、運動・動作の向上を支援します。タイピング練習を通じて運動野を活性化し、体性感覚を養います。また、一人ひとりの感覚特性に配慮し、音量や画面の明るさ、マウス設定などの調整方法を伝え、自分に合った快適な環境で過ごせるよう支援します。						
	認知・行動	プログラミングや検定挑戦を通じて達成感を得る機会を提供し、論理的思考や情報整理能力を育みます。ICTを活用し、空間・時間、数量の概念を学び、認知機能の発達を促進。プレゼンテーションの機会を設け、伝える力を養い、成功体験を積むことで自己肯定感を高めます。個々の認知の偏りや行動障害に配慮し、適切な環境調整を行いながら、社会的適応力を支援します。						
	言語 コミュニケーション	活動開始時にその日の流れを確認し、言葉と体験を結びつけて言語習得を促進します。周りの仲間や職員の気持ちを考えた関わりや発言の促しの中でのコミュニケーション能力の向上。PC機能を使用した自己肯定感の高まりで自分の気持ちを伝える自信を養うことを支援します。また、特性に合ったコミュニケーション手段で円滑な意思疎通を促進します。農業観察・記録・オンライン発表といったプログラムを通じて、パソコンの操作スキル・コミュニケーション能力を養う。						
	人間関係 社会性	必ず毎日集団プログラムで利用者全員がかかわる時間を設けている。集団プログラムで手順やルールを一緒に作り、集団の一員として活動できるよう支援します。これにより、他者との関わりや自己調整能力を高めます。活動するなかで人のかかわりを意識し、信頼関係を築く支援を行います。職員が模範となり、挨拶や言葉づかいを指導し、社会性の発達を促進。利用児童の特性を理解し、自己理解と情動調整の支援を行います。						
家族支援		保護者との面談や交流会を定期的開催し、悩みや困りごとを気軽に相談できる場を提供します。LINEで情報発信と共有を行い、家族と連携。成長過程やライフステージに合わせたサポートや、事業所内での相談支援を通じて、解決に向けた支援を実施しています。			移行支援		個々のライフステージに応じて、本人と家族への相談援助を行い、移行先との調整をサポートします。地域の教育機関と連携し、情報共有を行い、支援内容や方法を共有。学校や就労事務所への訪問も実施し、円滑な移行をサポートしています。	
地域支援・地域連携		地域の教育機関、就労事業所、障がい福祉サービス、相談事業所などと連携し、定期的なアセスメントを通じて支援ニーズを共有します。地域支援を強化するため、学校や就労事務所への訪問、他事業所との交流会を実施し、包括的な支援を推進しています。ICT・農業体験を組み合わせた地域連携プログラムを実施します。			職員の質の向上		理念の共有を徹底し、毎日の支援プログラムの目的と振り返りを行っています。課題の見直しや現状把握を常に意識し、PDCAサイクルの明確化を図ります。また、療育の場として職員の意識向上を促進するため、育成研修を実施し、サービスの質向上に取り組んでいます。	
主な行事等		・高校生主催のイベント・田んぼで田植え・牧場で動物のエサやり・畑でハーブの植え付け収穫体験など・動物や植物とのかかわり・スポーツレク ・生徒が主催で行う大会・交流会・周年イベント・買い物や通所自立支援を兼ねた課外活動(空港への遠足等)・保護者茶話会(交流会)・他事業所との交流						